



2025 年 4 月 18 日

各位

MCP アセット・マネジメント株式会社
代表取締役社長 田中徹也

**脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合
(通称: 脱炭素化 VC FOF)の投資実行のお知らせ**

弊社が運営する「脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合」(通称: 脱炭素化 VC FOF、以下、「本 FOFs」)は、UntroD Capital Japan 株式会社(以下、「UCJ」)が運営するリアルテックファンド 4 号投資事業有限責任組合(以下、「本ファンド」)に出資コミットメントを行いましたので、お知らせ致します。

【案件の概要】

名称	リアルテックファンド 4 号投資事業有限責任組合
出資コミットメント日	2025 年 3 月 12 日
無限責任組合員(GP)	リアルテックファンド 4 号有限責任事業組合
本 FOFs の出資金額	10 億円

本ファンドを運営する UntroD Capital Japan(<https://untrod.inc/>、以下「UCJ」)は、UCJ の前身であるリアルテックホールディングス時代から約 10 年間一貫して社会課題を解決するディープテック特化型ファンドを運営しています。その代表を務めているのは、ユーグレナ(TYO2931)に創業期に参画しその IPO を牽引した実績を有する永田暁彦氏です。脱炭素化はディープ・イシュー(人類の切実な課題)の重要なテーマの一つであり、UCJ は国内の脱炭素分野で最もアクティブに投資活動を行っているベンチャー・キャピタルの一つです。また、同社はインパクト志向金融宣言に署名しており、積極的にインパクト投資の促進に取り組んでいます。

本ファンドは、脱炭素化を含むディープ・イシューを解決するアーリー・ステージのスタートアップを中心に資金を提供しハンズオンで社会実装支援を行い、日本からグローバルで活躍する企業を創出することを企図しています。本 FOFs は、本ファンドを通じて幅広いサブセクターのスタートアップ企業を支援し、脱炭素化を促進して参ります。また、UCJ として新たな成長ステージを迎え



た同社に対し、本 FOFs の豊富なファンド投資経験を活かして、特に機関投資家の観点からファンド運営に関する様々な助言を行って参ります。

【本 FOFs(脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合)について】

本 FOFs は、2022 年 12 月に東京都による 60 億円の出資により設立されたファンド・オブ・ファンズです。2050 年ネット・ゼロに向けて気候変動問題解決に取り組むスタートアップ企業を支援するために脱炭素化をテーマとしたベンチャー・キャピタル・ファンド等へ出資を行い、本 FOFs の組み入れを完了しました。

本 FOFs は出資した 6 ファンドを通じて多様な分野の気候変動問題の解決に貢献する技術・サービスを開発するスタートアップ企業を支援し、グローバル市場で競争力のあるスタートアップ企業を東京から創出することを目指します。また、本 FOFs は投資先ファンドのマネージャーに対して様々なサポートを行うと同時に、投資先ファンドのマネージャーおよびそれらの投資先企業と協働してインパクトを測定する仕組みを構築し、その達成状況に関して「インパクト・レポート」などの形で情報を発信致します。

(本 FOFs のウェブサイト: <https://www.tokyo-vc-fof.jp/#>)

(お問い合わせ先)

脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ vci-ops@mcp-am.com

MCP アセット・マネジメント株式会社 (代表)03-3517-8800